○　社会環境分野

区分	■ 新　規　　□ 再提案　（　・　・　第　　回総会；　　市）		
種類	□ 現行制度の改善又は拡充を求めるもの ■ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの □ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの □ その他（　　）	分野	□ 総務文教 ■ 社会環境 □ 経済 □ 危機管理建設
要望先	□ 国	担当省庁	
	■ 県	担当部局	健康福祉部
	□ その他	名　　称	

件名	**8　がん患者への補正具購入助成制度の創設について**
提案市	伊那市、駒ヶ根市
提案要旨	がん患者の療養生活や社会参加を推進するため、補正具（医療用かつら（ウイッグ）や乳房補正具）の助成制度の創設を県に要望する。
提案理由	・がんの罹患者数は増加が見込まれる現状である。 ・治療に伴う外見の変化は、患者の精神的な負担となっており、ましてや、人目は気になるものである。治療中の精神的負担を少しでも軽減できるようにしていくことが必要である。 ・生きる意欲を増進するためには、家にひきこもらず社会参加（仕事・地域づくり・趣味など）することが大事な要件であり、人目を気にせず、治療前と同じ生活が送れるように支援できることが重要である。 ・全国では、県が主体となり支援している例もある。県には、市町村が取り組みやすい助成制度の新設をお願いしたい。
現況及び課題等	○伊那中央病院がん相談センター（がん拠点病院）の状況 ・2019年度外来がん患者数　3,528人、このうち伊那市の患者数1,825人 ・伊那市の年代別内訳 20～59歳：338人、60代：367人、70代以上：1120人 ・このうち抗がん剤療法、放射線治療は6割を占め、抗がん剤の副作用による脱毛は9割の方に見られ、ほとんどの方へ精神的ケアを行っている現状がある。 ○補正具の着用期間は、治療期間によって比例するため様々であるが、おおよそ１～３年の間と思われる。 ○（参考）「第2期信州保健医療総合計画」より県の状況 ・35歳から74歳のがん患者は全国・県ともに増加している。 ・全年齢で、全国・県ともに人口は減少しているが、がん患者数は増加している。 ○19市の助成状況　…　実施なし（検討中３市）
関係法令	なし